



114名の潮見っ子が卒業しました

3月22日（金）に、無事卒業式が行われました。卒業式の2日前、春分の日は大荒れでしたが、この日は、卒業式にふさわしい春らしい穏やかな日でした。きっと、日頃の子どもたちの行いのよさが、天気にも反映されたのだと思います。

この卒業式で一番うれしかったのは、全員に卒業証書を手渡しできたことです。私は、一人一人の顔を確認めながら渡しました。卒業生もそれに応えて、しっかり私の目を見て証書を受け取りました。小学校の卒業証書は、人生で初となる自分自身の足跡を証明するものと言ってよいでしょう。6年間頑張った証です。大切に保管をしてほしいと思います。

歌プロジェクト実行委員作成の「Memory ～with best friends～」を6年生が歌っているときには、目頭を熱くしていた保護者の方もいらっしゃいました。子どもたちが成長する中で、思い出されることがたくさんあったことなのでしょう。それを見ていると私も感慨深いものがありました。また、「旅立ちの日に」を5年生と6年生がバトンを渡すように歌う様子は、体育館が一体となり、大変すばらしいものでした。来賓の方からも子どもたちの姿を褒めていただきました。

卒業した子どもたちには、中学校での活躍を祈っています。卒業式で伝えたことを少しでも意識して学校生活を送ってほしいと思います。

5年生は、卒業式に参加しただけでなく、準備や片付けを頑張りました。春休み中には、入学式の準備もあります。卒業式に出席したことでまた一歩成長した姿を見ることができました。来年度には、最高学年として潮見小学校を立派に支えていくことを期待しています。

これまで潮見小学校の教育にご協力いただいた卒業生の保護者の皆様、ありがとうございました。また、6年生を見守ってくださった地域の皆様にも感謝申し上げます。



【令和5年度卒業式式辞】

学校の桜の蕾が膨らみ、春風に心地よさを感じるようになりました。

このようなよき日に松山市役所潮見支所長様をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和5年度卒業証書授与式を行うことができましたことに、心からお礼申し上げます。

さて、本日、潮見小学校を巣立って行く114名の皆さん、卒業おめでとうございます。最高学年として、潮見小学校や下学年のために率先して行動し、よき伝統を築きました。皆さんと接してきたのは1年という短い間でしたが、その中でも、4階の教室では、いつも落ち着いた雰囲気で行われていたことが印象的に残っています。日々の生活の中で、皆さんの成長を実感しました。

そんな皆さんに、今から、2つのことをお話しします。

一つは、自分で決断するということです。これから成長するにつれて、進学や就職など、大切な決断をする機会が多くなってきます。そのときに人の意見を参考にするのはよいことです。しかし、親や先生、周りの人に言われたからという理由だけで決めてしまうと、うまくいかなかった時、人のせいにして、大きな後悔をするかもしれません。でも、自分が決めたことなら、たとえそれがうまくいなくても、その経験を必ず次に生かすことができます。日頃から「自分ができることは自分です」、「自分で考えて行動する」といった習慣をつけることで、決断力が備わります。自分の決断に責任をもって、自分の生き方を自分で切り拓いていく努力をしましょう。潮見の宝、イトスギのようにまっすぐ伸びてください。

もう一つは、正しく、美しく、思いやりのある言葉を学び、自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けることです。考え方や行動は言葉で成り立っています。心無い言葉で相手を傷つけてしまったこと、傷つけられてしまったことは皆さんもあるでしょう。私もあります。一方で、優しい言葉によって、相手を元気づけたり、自分の心を癒したりしたこともあるはずで、本を読んだり、文章を書いたりして、正しく、美しく思いやりのある言葉をたくさん学びましょう。言葉は、その人の心を表します。自分や相手の気持ちを考えた言葉で表現すれば、きっとよりよい人間関係を築くことができます。潮見の宝、ダンちゃんに関わった人たちのように温かい人になってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長した姿をご覧になり、これまでのご苦労や喜びが思い起こされ、感慨もひとしおでないかと思えます。心よりお祝い申し上げますと共に、これまで本校に賜りましたご支援に感謝申し上げます。

では、皆さん、健康に気を付けて、自分の夢を実現できるよう頑張りましょう。陰ながら応援しています。

令和6年3月22日

松山市立潮見小学校 校長 池川 仁

